様式第１号（第１０条関係）

2024 年度業務実績報告書

提出日　2025 年　1 月　15 日

１．職名・氏名　助教　岡田　恭子

２．学位 学位 修士、専門分野 看護学、授与機関 福井県立大学、授与年 平成 29 年 3 月 24 日

３．教育活動

⑴講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 老年看護援助論（2 単位）2 年次
②内容・ねらい（自由記載） 高齢者によくみられる疾患を理解し、心身の加齢変化の特徴および家庭や社会における役割を踏まえたアセスメント、高齢者の強みを活かした看護の実際を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記載） 具体的な看護について、学生が想像しやすいように実習中の先輩学生や教員の関わりの実際場面を意図的に数多く活用し、高齢者の反応が理解しやすいように工夫した。授業の始めに小テストを実施し、知識の整理や理解が深まるようにした。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 セルフケア支援論（2 単位）2 年次
②内容・ねらい（自由記載） 慢性疾患の特徴や慢性疾患を持つ患者の健康障害を理解し、慢性的な健康障害をもって生きる人に看護を提供するための知識・技術を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記載） 疾患の理解と看護を結び付けて理解できるよう解剖生理や病態の復習を取り入れた。疫学や社会背景についても講義し、退院後の療養生活を見据えた具体的な看護について理解しやすいように工夫した。授業の始めに小テストを実施し、知識の整理や理解が深まるようにした。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 老年看護援助演習（1 単位）3 年次
②内容・ねらい（自由記述） 高齢者に起こりやすい健康問題を理解したうえで、複数の疾患に罹患した高齢者の事例を活用して、治療経過をふまえた各段階におけるアセスメント、看護計画の立案から実施までの過程をグループワークや演習方式で学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 新型コロナ感染予防対策を十分に行った上で、学生が効果的に高齢者体験や技術習得できるような方法や手順を考え実施した。また、実習で実際に受け持つことの多い大腿骨頚部骨折患者の看護過程の展開を行い、事例を通して学びが深められるよう工夫した。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 老年看護援助実習　（2 単位　毎年開講）3 年次
②　内容・ねらい（自由記述） 多様な価値観と多様な健康問題をかかえている高齢者を身体的・生活的・精神的側面からアセスメントし、これまでの人生を尊重してもてる力(強み)と権利を擁護する視点、在宅での生活を考えた視点を視野に入れた看護過程展開能力を学習し、老年看護特有の実践能力を修得する 施設の目的に基づいた看護師の専門的役割と多職種との連携について理解し、家族支援も含め高齢者の生活の質の向上を目指した援助について看護過程の展開を通して学ぶ

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
講義で学習した知識、技術を臨床で統合して活用することで対象の理解を深め、看護を展開できるよう取り組んでいる。対象者の個別性に即した看護を認識できるようなアセスメントの方法や、看護実践について学生の特性に応じて指導を行った。老健と特養で実習しているため、その特徴や様々な考えをまとめ学びが深められるようグループワークを多用し、グループメンバーも適宜変更した。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
認知症看護発展セミナー（1 単位）4 年次

② 内容・ねらい（自由記述）
概要
グループワークを通して、認知症看護の専門性について理解を深める
目標
・認知機能障害が生活に及ぼす影響と高齢者の強みを引き出し、生活しやすくする看護の実際を理解する
・認知症の原因疾患による生活のし辛さの違いを知り、看護の工夫を考えることができる
・生活のなかでの意思決定支援、意思表出支援の実際を理解できる
・退院に向けた多職種連携の実際を学び、高齢者の視点から課題を抽出し、解決策を検討できる

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
新型コロナ感染拡大のため、認知症専門病院での実習が難しくなったため、実習予定であった病院の専門看護師とリハビリ職による講義の動画を視聴した。そして、複数の事例を作成し、テーマごとにグループワークとまとめの発表を行った。要支援高齢者とその家族を支援するために多職種がどのように連携を図っているかを知り、その中での看護職の果たす役割について学びが深められるようにした。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
卒業研究（3 単位）4 年次（平成 30 年度～）

②内容・ねらい（自由記述）
科学的思考力を養い、自ら探求する態度と研究能力の基礎を身につける。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
研究に必要な基礎的な能力が身につくよう指導した。学生が明らかにしたいと考えることを大切にし、計画的に進められるよう関わった。また、主体的に行えるよう計画に沿って研究に関するテキストを提示した。

(2)その他の教育活動

内容

4．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書
【 本】

② 学術論文（査読あり）
COVIT-19 の影響下での老年看護学実習の代替実習における学生の学びー課題レポートのテキストマイニングによる分析ー, 福井県立大学論集第 61 号, 2024 年 11 月
【 1 本】

③ その他論文（査読なし）
【 本】

④　その他の公表実績
　急性期病院整形外科病棟看護師の認知症高齢者の関わりに対する困難感, 第 74 回病院学会, ポスター発表, 2024 年 7 月 4 日

【 1 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

令和 7 年度 KF 枠

(3)特許等取得

(4)学会活動等

日本エンドオブライフケア学会第 7 回学術集会　実行委員

５．地域・社会貢献活動

⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講　（タイトル名、開催場所、開催日時）

６．大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

看護学科　科内委員
　卒業研究、オープンキャンパス
　オープンキャンパス 2024 オンライン交流会企画・開催　2024 年 8 月 25 日

(3)学内行事への参加

入試説明会（丸岡高校）2024 年 7 月 3 日

(4)その他、自発的活動など

　福井県立大学大学院特別講義　臨床倫理について　髙野誠一郎先生（福井赤十字病院副院長）2024 年 5 月 23 日
　福井県立大学大学院特別講義　誰のための医療安全か～心理的安全性のある職場～　藤田也先生（長岡赤十字病院　院長）　2024 年 6 月 21 日
　JANPU 看護実践能力評価基準検討委員会　FD・SD 研修会【第 2 回目】　2024 年 8 月 1 日
　令和 6 年度情報セキュリティ研修　2024 年 9 月 12 日
　第 24 回 JANS セミナー　変数選択の考え方を知ろう！因果推論のすすめ　ライブ配信　2024 年 9 月 25 日
　大阪公立大学　FD セミナー「看護教育カリキュラムの動向と改善に向けた取り組み」2024 年 12 月 16 日
　日本老年看護学会第 29 回学術集会　参加　2024 年 6 月 29 日・30 日
　日本エンドオブライフケア学会第 7 回学術集会　参加　2024 年 10 月 12 日～14 日（実行委員のため 10 月 12 日プレイベントも参加）